

平成28年度

広野町中学生海外教育交流派遣事業報告書

カナダブリティッシュコロンビア州

(ケロウナ市・バンクーバー市)

平成28年8月17日(水) ～ 8月24日(水)



広野町教育委員会学校教育課

目 次

◆ はじめに 1
◆ 派遣団員名簿 2
◆ 派遣事業経過 3
◆ 派遣事業行程表 4～6
◆ 事後研修会 7～8
◆ 結団式 9
◆ カナダ研修報告 10～23
◆ 事後研修会 24～25
◆ 国際フォーラム 26～27
◆ 派遣中学生報告 28～48

平成28年度 広野町中学生海外教育交流派遣事業報告

1 はじめに

日頃より、本町における復興施策への御支援、御協力を賜っておりますことに対して厚くお礼申し上げます。

さて、中学生海外教育交流派遣事業につきましては、次世代を担う中学生を海外に派遣し、外国の文化、歴史、生活、風土等に接することで、外国の人々との相互理解と国際協調の精神を養い、国際的感覚の豊かな人材育成のため、平成9年度から平成13年度までの5年間実施し、その後一定期間中断しておりました。東日本大震災後の平成26年に、町議会、中学校並びに保護者の皆様方の御理解のもと、本事業を再開したところであります。

本年度につきましては、昨年度に引き続き、カナダ国を派遣国に選定し、生徒・引率併せて27名の派遣団を編成し、ケロウナ市を中心として、8月17日から8月24日までの6泊8日間で実施いたしました。

派遣に先立ち、異文化と英語に慣れて貰うことを目的に、多様な文化を持った留学生と直に触れ合うなどの事前研修を行いました。生徒たちは皆、真剣に研修に取り組んでおりました。

事前研修の成果もあり、派遣先におきましては、ホームステイに加え、「異文化コミュニケーションプログラム」として、カナダで活躍する日本人訪問、同世代カナディアンバディとの交流、さらには、在カナダ日本国大使館を訪問し生徒自らが英語で広野町に関するプレゼンテーションを行うなど、多岐にわたる体験活動を実施することができました。

帰国後は、国際フォーラムでの発表に向け、事後研修を実施いたしました。フォーラム当日は、生徒一人ひとりが、それぞれカナダでの貴重な体験を通して学んだこと、感じたこと、考えたことなどを、臆することなく自信を持って発表しておりました。

これら一連の海外研修事業の実施にあたりましては、星校長先生はじめ、諸先生方のご尽力の賜であり、心より感謝を申し上げます。

生徒たちは、この度のカナダでの体験で、積極的に一歩前に出て交流することの大切さを学んだことと思います。今後、自らの夢や希望を切り拓いて行く上で、限りない力となることを期待します。

結びに、今回の派遣事業に際し、ご協力いただいた広野中学校、そして保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

広野町中学生海外教育交流派遣事業

団 長 坂本 淳

派遣団員名簿

No.	所属	生徒氏名	ふりがな	性別	備考
1	広野中2年	赤井 理紗	あかい りさ	女	
2	広野中2年	猪狩 圭汰	いがり けいた	男	
3	広野中2年	大橋 達也	おおはし たつや	男	
4	広野中2年	大和田 美月	おおわだ みづき	女	
5	広野中2年	大和田 萌	おおわだ もえ	女	
6	広野中2年	上遠野 結和	かとうの ゆいな	女	
7	広野中2年	黒田 英寿	くろだ ひでとし	男	
8	広野中2年	是次 美優	これつぐ みゆ	女	
9	広野中2年	坂本 光太	さかもと こうた	男	
10	広野中2年	三瓶 聖太	さんぺい しょうた	男	
11	広野中2年	鈴木 一朗	すずき いちろう	男	
12	広野中2年	関根 ありさ	せきね ありさ	女	
13	広野中2年	高原 由依	たかはら ゆい	女	
14	広野中2年	菜花 大輝	なばな たいき	男	
15	広野中2年	抜水 綾花	ぬきみず りょうか	女	
16	広野中2年	根本 柊	ねもと しゅう	男	
17	広野中2年	堀江 紗帆	ほりえ さほ	女	
18	広野中2年	堀江 莉帆	ほりえ りほ	女	
19	広野中2年	水野 真優	みずの まひろ	女	
20	広野中2年	吉田 智美	よしだ ともみ	女	
21	広野中2年	渡辺 優希	わたなべ ゆうき	男	
22	広野中2年	渡邊 祐也	わたなべ ゆうや	男	
23	教育次長	坂本 淳	さかもと あつし	男	団長
24	広野中校長	星 秀美	ほし ひでよし	男	副団長
25	広野中教諭	落合 志保	おちあい しほ	女	クラス担任
26	広野中教諭	金森 吉昭	かなもり よしあき	男	
27	事務局	秋田 尚志	あきた たかし	男	

派遣事業の経過

月 日	曜日	内 容	参 加 者
7月30日	土	【事前研修会】 広野町公民館大会議室 ～異文化と英語に触れるプログラム～ <input type="checkbox"/> プログラム説明 <input type="checkbox"/> 留学生の事を知ろう <input type="checkbox"/> カナダについて知ろう <input type="checkbox"/> ウォーミングアップ <input type="checkbox"/> ホームステイ体験 <input type="checkbox"/> 感想・意気込み発表	派遣中学生
8月10日	水	【結団式】 広野町公民館大会議室 <input type="checkbox"/> 任命書交付 <input type="checkbox"/> 町長あいさつ <input type="checkbox"/> 引率者紹介 <input type="checkbox"/> 激励の言葉 <input type="checkbox"/> 派遣社代表あいさつ ・引率者代表 ・生徒代表	派遣中学生 派遣中学生の保護者 派遣同行職員
8月17日 ～ 8月24日	水 ～ 水	【派遣先：カナダBC州ケロウナ、バンクーバー6泊8日】 <input type="checkbox"/> 出国 <input type="checkbox"/> 帰国	派遣中学生 派遣同行職員
11月12日	土	【事後研修会】 <input type="checkbox"/> 事前課題確認 <input type="checkbox"/> カナダ派遣の振り返り（グループワーク） <input type="checkbox"/> 国際フォーラム発表原稿作成 <input type="checkbox"/> 国際フォーラムに向けた発表練習	派遣中学生 派遣同行職員
11月27日	日	【国際フォーラム】 ～被災地から考える～ <input type="checkbox"/> プログラム概要説明 <input type="checkbox"/> グループ発表（1班～4班） <input type="checkbox"/> 意見交換 <input type="checkbox"/> ファシリテーター講評	派遣中学生 派遣同行職員

平成28年度 広野町中学生海外教育交流派遣事業 行程表

派遣先 カナダ：ブリティッシュコロンビア州 ケロウナ・バンクーバー
派遣期間 平成28年8月17日（水）～8月24日（水） 8日間

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	行程	食事
1	8/17 (水)	広野町発 成田空港着 成田空港発	11:00 15:00 17:00	貸切バス AC004	貸切バスで成田空港へ 出国手続き 空路、バンクーバーへ	朝：× 昼：×各自 夕：○機内
		バンクーバー着 バンクーバー発 ケロウナ着 ケロウナ	09:35 13:15 14:17 午後	AC8414 専用車	バンクーバー空港で入国手続き、国内線乗り換え カナダ国内線にてケロウナへ ケロウナ空港到着 現地スタッフのお出迎え後、 ブリティッシュコロンビア大学オカナガン校へ移動 チェックイン&キャンパス案内 ※ホームステイオリエンテーションおよび ケロウナの街の歴史などを説明 <div style="text-align: right;"><大学寮泊></div>	朝：○機内 昼：×各自 夕：○ 大学内 カフェテリア
2	8/18 (木)	ケロウナ	終日	専用車	午前：ESLレッスン 昼食：パックランチ(お弁当) 午後： <u>STEP 1 異文化コミュニケーション①</u> ～カナダで活躍する日本人から学ぶ～ 日本人が経営するファームで移民当時から今に 至るまでを日本人スタッフが日本語で説明 その後、グループワーク&ファーム体験 終了後、ホストファミリーと対面し、ホスト先へ <div style="text-align: right;"><ホームステイ泊></div>	朝：○ 大学内 カフェテリア 昼：○ パックランチ 夕：○ ホームステイ先
3	8/19 (金)	ケロウナ	終日	ホストファミ -送迎	終日： <u>STEP 2 異文化コミュニケーション②</u> ～カナディアンバディとの交流から学ぶ①～ カナディアンバディと終日一緒に過ごす 午前：フルーツピッキング体験 昼食：ダウンタウンで各自	朝：○ ホームステイ先 昼：×各自 夕：○ ホームステイ先

					午後:ダウンタウンウォーキングと博物館見学 ヘリテージ博物館(クラフト体験) ミリタリー博物館 オーチャード・ミュージアム ＜ホームステイ泊＞	
4	8/20 (土)	ケロウナ	終日	ホストファミリー -送迎	午前: STEP 3 異文化コミュニケーション③ ～カナディアンバディとの交流から学ぶ②～ カナディアンバディと昼食まで一緒に過ごす ファーマーズマーケットでの宝探しゲーム (スカベンジャーハント)&モールでの買い物体験 週2回開催されるファーマーズマーケット(市場) でバディと一緒に宝探しゲームにチャレンジ 昼食:ファーマーズマーケットまたはモールで各自 午後: STEP 4 異文化コミュニケーション④ ～グループワーク&プレゼンテーション～ ケロウナで学んだこと、気づいたことなど4日間を グループで振り返り、発表していただきます その後、カナダ日本国領事館でのプレゼンテー ションに向けた最後の準備 夕刻:Farewell Party ホストファミリーやカナディアンバディに出席いた だき、パーティーを開催 ゲームやアトラクションで楽しむ ＜ホームステイ泊＞	朝:○ ホームステイ先 昼:×各自 夕:○ Farewell Party
5	8/21 (日)	ケロウナ	終日	ホストファミリー -送迎	終日:ホストファミリーとお過ごしく ださい ＜ホームステイ泊＞	朝○ ホームステイ先 昼○ ホームステイ先 夕:○ ホームステイ先
6	8/22 (月)	ケロウナ ケロウナ着 ケロウナ発 バンクーバー着 バンクーバー	午前 9:40 10:40 11:37 12:00 14:00 15:30	ホストファミリー -送迎 AC8399 専用車	ケロウナ空港へ カナダ国内線にてバンクーバーへ バンクーバー空港到着 到着後、グランビル・アイランドへ 昼食:グランビル・アイランドで各自 「在バンクーバー日本国総領事館」訪問 ～広野・プレゼンテーション～	朝:○ ホームステイ先 昼:×各自 夕:○ レストラン

			15:45 16:15 16:35 17:30 18:00 19:00 19:15 19:45 20:00 20:30 20:45 21:30 21:45		ホテルチェックイン バンクーバー市内観光へ出発 ショッピングモールでショッピング 夕食会場へ移動 市内レストランにて夕食 サンセット見学 スタンレーパークへ出発 スタンレーパークでサンセット楽しむ サンセット見学 カナダ・プレイスへ移動 カナダ・プレイスでサンセットを楽しむ 夜景見学へ出発 ハーバー・センターからの夜景を楽しむ 夜景見学後、ホテルへ 〈バンクーバー泊〉	
7	8/23 (火)	バンクーバー バンクーバー着 バンクーバー発	午前 11:20 13:25	専用車 AC003	朝食&荷物整理後、チェックアウト ガスタウンなどを車窓見学し、バンクーバー空港へ 出国手続き 空路、成田へ	朝:○ ホテル 昼:×各自
8	8/24 (水)	成田空港着 成田空港発 広野町	15:10 16:10 20:00	貸切バス	入国手続き 貸切バスで広野町へ	朝:○機内 昼:○機内 夕:×



事前研修会 テーマ：～異文化と英語に触れるプログラム～

平成28年7月30日（土） 広野町公民館大会議室

- 13:00 プログラム説明
- 13:15 留学生のことを知ろう！（Find your buddy）
- 14:00 カナダについて知ろう！
- 14:30 WARMING-UP！
- 15:30 ホームステイを体験しよう！
- 16:30 本番に向けての意気込み発表

海外教育交流派遣事業に参加する広野中学校2年の生徒たち22名は、カナダへの渡航を約2週間後に控える中、事前に異文化と英語に触れるために研修を行いました。研修には、首都圏の大学に在学する留学生3名を迎え、ゲーム形式で楽しみながら交流したり、カナダ国籍の留学生からカナダの基本情報やホームステイについて話を聞き、知識を深めました。また、実際のホームステイで想定される場面を留学生と対面形式で体験しました。英語だけでの会話に生徒達は苦戦しながらも、知っている単語やジェスチャーなどを用いながら、なんとか会話を成立させようと頑張っていました。

研修の最後に行った意気込み発表では、生徒各々が様々に本番にむけての想いを発表し、モチベーションを高めました。



(プログラム説明の様子①)



(プログラム説明の様子②)



(留学生のことを知ろう①)



(留学生のことを知ろう②)



(ホームステイを体験しよう①)



(ホームステイを体験しよう②)



(本番に向けての意気込み発表①)



(本番に向けての意気込み発表②)



(研修の最後に留学生を囲んで記念写真)

結団式 テーマ：～異文化と英語に触れるプログラム～

平成28年8月10日（水） 広野町公民館大会議室

- 15:00～
- (1) 任命書交付
 - (2) 町長あいさつ
 - (3) 引率者紹介
 - (4) 激励の言葉
 - (5) 派遣者代表あいさつ
- 引率者代表 広野中学校長 星 秀美
生徒代表 堀江 紗帆

カナダ派遣を直前に控える中、海外教育交流派遣事業に参加する広野中学校2年の生徒たち22名及び同行職員へ団員任命書を交付するため、結団式を開催しました。

当日は、町長及び議会議長より激励の言葉を頂き、また、派遣者を代表して広野中学校の星校長と生徒代表の堀江紗帆さんがあいさつをしました。



(任命書交付：星校長)



(任命書交付：堀江紗帆さん)



(町長あいさつ)



(議会議長激励の言葉)



(真剣な表情の団員達)



(生徒代表あいさつ)

カナダ地図 ～BC州～



成田空港からバンクーバー 約9時間
バンクーバーからケロウナ 約1時間

事業の目的：外国の文化、歴史、生活、風土などを直接体験することにより、外国の人々との相互理解と国際協調の精神を養い、国際的感覚の豊かな人材を育成することを目的とする。

派遣国及び帰還：カナダ国プリティッシュコロンビア州 ケロウナ及びバンクーバー
平成28年8月17日（水）～8月24日（水）の6泊8日間

生徒及び引率者：広野町立広野中学校2年生：22名（男子10名・女子12名）
引率者：校長及び教諭2名・学校教育課職員2名

- 研修の内容：異文化コミュニケーション（STEP①～④）
- カナダで活躍する日本人移民から学ぶ①（荻ファームでの農作業体験等）
 - カナディアンバディとの交流から学ぶ②（フルーツピッキング体験や博物館見学）
 - カナディアンバディとの交流から学ぶ③（市場でスカベンジャーハントや買い物体験等）
 - グループワーク④（①～③を振り返り、まとめと発表。）

在バンクーバー日本国総領事館での広野町プレゼンテーション準備。

フェアウェルパーティー（ホストファミリーや同世代バディと様々なアトラクションを通して交流）

在バンクーバー日本国総領事館を訪問し、広野町のプレゼンテーション実施。

1日目 平成28年8月17日(水)

- 9:35 バンクーバー空港到着 カナダ国内線にてケロウナ空港へ
- 14:17 ケロウナ国際空港到着 バスにてブリティッシュコロンビア大学(UBC)へ
- 15:00 UBC到着 大学寮へチェックイン
- 15:45～ オリエンテーション・ケロウナの歴史を学ぶ
- 16:40～ UBCキャンパス内散策
- 17:15～ UBCカフェテリアにて夕食



(成田空港にて)



(ケロウナ国際空港到着)

ケロウナ国際空港に到着した生徒たちは、現地スタッフと対面後、初日の宿泊先であるブリティッシュコロンビア大学オカナガン校の学生寮(ニコラレジデンス)へチェックインし、オリエンテーションを行い、カナダ滞在中の生活や、ケロウナの街の歴史などについて学びました。生徒たちは長旅の疲れも見せず真剣な表情で臨んでいました。

終了後、キャンパス内を見学し、カフェテリアにて早めの夕食を摂り、1日目を終了しました。



(オリエンテーション会場へ)



(オリエンテーションの様子)



(キャンパス内見学の様子)



(カフェテリアにて夕食)

2日目 平成28年8月18日(木)

- 7:00 UBCカフェテリアにて朝食
- 8:50 ケロウナクリスチャンスクール到着
- 9:00～ ESLレッスン(2クラスに分かれて)
- 12:00～ 昼食
- 13:20～ 萩ファーム訪問(お話とファーム体験)
- 15:20～ 振り返りとまとめ(グループワーク)
- 16:00～ ホストファミリーとの対面式

この日の午前中は、初めてのESLレッスンです。生徒達はケロウナにあるクリスチャンスクールへ到着後、早速2クラスに分かれてレッスンを体験しました。全て英語のみで行われたESLクラスでは、緊張からか指導員の質問に対し、生徒同士お互い顔を見合わせてしまう場面もありましたが、徐々に慣れていき、臨場感のあるレッスンを体験し「英語を英語で学ぶ」感覚を養いました。



(ESLレッスンの様子1)



(ESLレッスンの様子2)



(ESLレッスンの様子3)

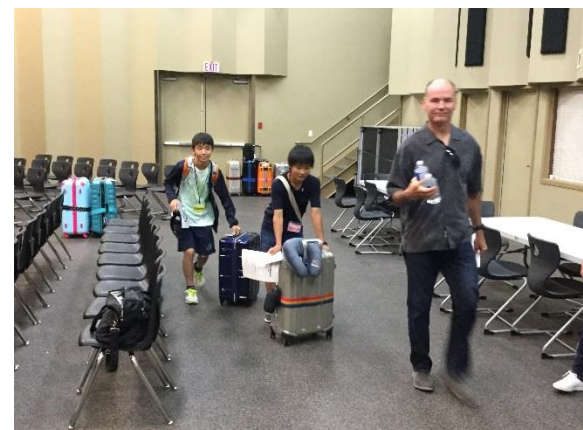


(休憩中に日本人スタッフと)

午後は、カナダ移民として現地で暮らす、日本人の荻夫婦が経営する農園を訪れました。
ここでは、荻夫婦がカナダ移民としてひたむきに切り拓いてきた暮らしなどについて話を伺い、グループごとに日本とカナダの農業の違いや、移民として開拓するにあたって苦労したことなどについてインタビューをしました。更に、実際に広大な農園で農作業体験もさせていただきました。
生徒たちは、異国の地で逞しく生きている家族の姿を見て感銘を受けた様子でした。



夕方、いよいよお世話になるホストファミリーとの対面。
対面式の後、生徒たちは緊張の面持ちで各ステイ先へと向かって行きました。





3日目 平成28年8月19日(金)

- 9:00 カナディアンバディ(6名)と対面
- 9:30 バディと一緒にフルーツピッキング体験
- 11:15～ バディと一緒にダウンタウンウォーキング(自由時間と昼食各自)
- 13:50～ バディと一緒にヘリテイジミュージアムツアー
- 15:30～ 集合写真撮影(ドルフィン像前)
- 16:00～ ステイ先へ帰宅

この日、ステイ先から集合した生徒たちは、同世代のカナディアンバディ6名と対面しました。対面後、バスにてフルーツマーケットに向かい、6班に分かれてバディと一緒にフルーツピッキング体験をしました。日本の果物とはひと味違ったカナダの果物をバディと協力しながら楽しそうに収穫していました。



午後は、ケロウナの街の歴史を学ぶため、バディと一緒にケロウナのダウンタウンを散策したり様々な博物館の見学をしました。ダウンタウン散策では、事前に用意していた質問をバディに英語でインタビューするなどし、交流を深めました。



4日目 平成28年8月20日(土)

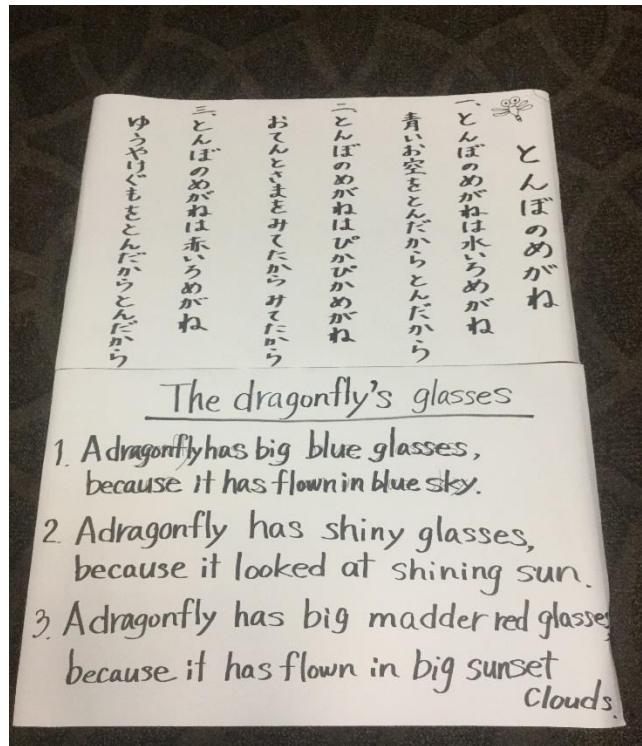
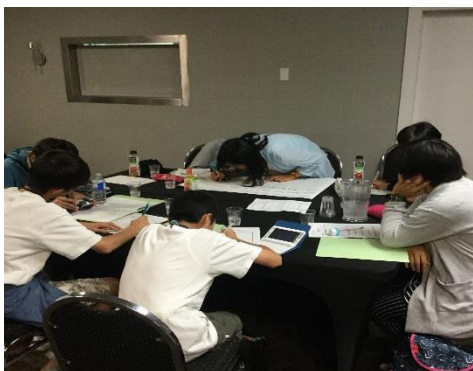
- 9:00～ バディと一緒にファーマーズマーケットでスカベンジャーハント(答え探し)
- 9:40～ ファーマーズマーケットで自由時間
- 10:20～ スーパーストアにてショッピング
- 11:10～ オーチャードパークにてバディと一緒にショッピング(自由時間と各自昼食)
- 13:00～ グループワーク
- 16:00～ フェアウェルパーティー(バディとホストファミリーを招いて)
- 18:00～ ステイ先へ帰宅

カナディアンバディとの交流2日目のこの日の午前中、ケロウナで週に2回開催される市場(ファーマーズマーケット)において、バディと協力しながらスカベンジャーハントと呼ばれる答え探しゲームをし、得点を競いあったり、大型ショッピングセンターなどで買い物体験したりと、交流を深めました。



午後は、ケロウナでの4日間を振り返り、模造紙を使ってグループごとにまとめを行い発表しました。自分はカナダへ来て「どう変わったのか、何を学んだのか、出発前の姿、現在の姿、これかの自分のあり方」などについて真剣に頭を悩ませ考えました。

グループワーク終了後、夕方に行われるフェアウェルパーティーの出し物の段取りの確認や、翌日に控えた在バンクーバー日本国総領事館でのプレゼンテーションの最終準備を行いました。



夕方、お世話になったホストファミリーやバディを招待し、パーティーを開催しました。

第1部では、バディから生徒一人一人にメッセージカードが手渡された後、生徒たちが日本から各自持参したお土産を交換したり、午前中に行われたスカベンジャーハントの表彰などが行われました。

第2部では、テーブルを囲んでみんなで夕食を楽しみ、生徒たちが考えたゲームやアトラクション（折り紙やじゃんけん貨物列車）で会場は笑顔で溢れました。

最後に童謡「赤とんぼ」を生徒全員で披露し、パーティーは終了しました。



5日目 平成28年8月21日(日)

終日 ホストファミリーとの自由行動

6日目 平成28年8月22日(月)

- 10:40 ケロウナ空港出発 カナダ国内線にてバンクーバー空港へ
- 11:40 バンクーバー空港到着
- 12:00～ グランビルアイランド見学
- 14:00～ 在バンクーバー日本国総領事館訪問 ～広野町プレゼンテーション～
- 16:15～ バンクーバー市内(ロブソン通り)にてショッピング
- 18:00～ 市内レストランにて夕食
- 19:00～ スタンレーパークでカナダでの最終まとめ
- 20:00～ カナダ・プレイスでサンセット見学
- 20:45～ ハーバーセンターで夜景見学

この日、お世話になった日本人スタッフの見送りを受けケロウナ市を後にした生徒たちは、カナダ国内線にてバンクーバー市へ到着した後、カナダ有数のパブリックマーケットであるグランビルアイランドで各自昼食を摂りその後、在バンクーバー日本国総領事館を訪問しました。

総領事館では、生徒代表3名による広野町のプレゼンテーションや生徒一人一人がカナダでの研修で学んだこと、そして日本に帰国してからの自分について、首席領事と領事班長を前に発表しました。

また、領事館の業務内容やその重要性、BC州と東日本大震災により漂着したがれきとの関係について説明を受けました。終始、緊張館に包まれた中で生徒達は、これまでのカナダでの体験やグループワークなどでまとめたことを一生懸命伝えました。





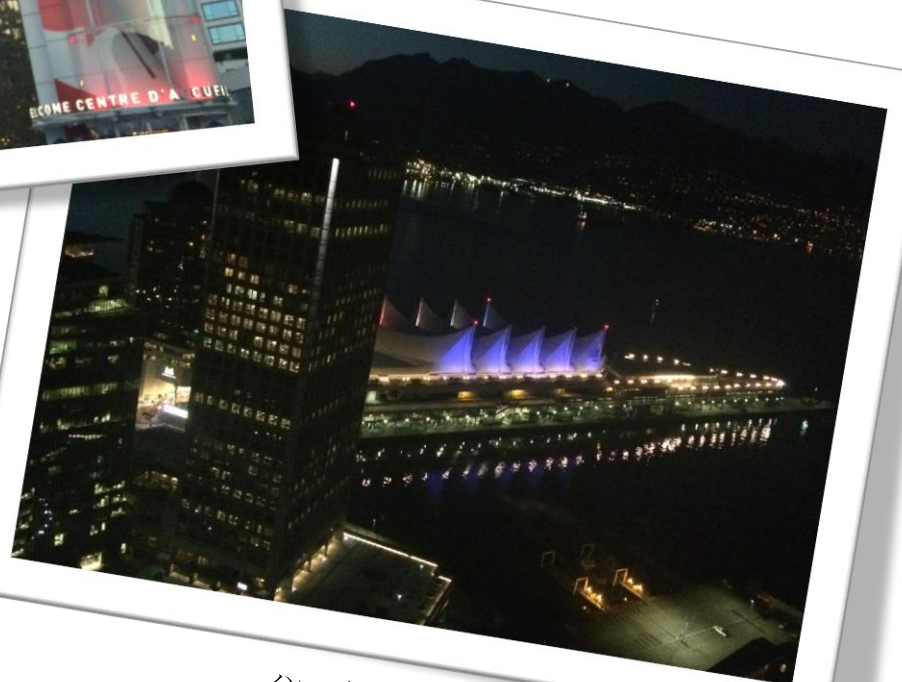
グランビルアイランド



スタンレーパーク



カナダプレイス



ハーバーセンター

7日目 平成29年8月22日（月） ※カナダ滞在最終日

9:30～ バンクーバー市内観光 車窓：ギヤスタウン
13:30 バンクーバー空港出発 成田空港へ

カナダ滞在最後のこの日は、「バンクーバー発祥の地」と呼ばれるギヤスタウンの町並みを車窓から見学し、町の歴史に触れながらバンクーバー空港へと向かい、帰路へとつきました。



(世界で唯一の蒸気時計)

事後研修会 テーマ：～広野町国際フォーラムセッションにむけて～

平成29年11月12日（土） 広野町役場会議室

- 9：00～ カナダ派遣の振り返り
- 9：30～ 国際フォーラム発表に向けたまとめ
- 15：00～ グループ発表練習

海外教育交流派遣事業に参加した広野中学校2年の生徒たちは、広野町で開催される国際フォーラムのセッション「広野町中学生海外研修報告会」での発表に向けて、4つのグループに分かれ、海外派遣を通して感じたこと、学んだことなどをテーマ別に一人一人パワーポイントを使ってまとめ、その後発表練習を行いました。





国際フォーラム「被災地から考える」

International Forum “Thinking from Disaster Affected Areas”

セッション「広野町中学生海外研修報告会 異文化コミュニケーションプログラム in カナダ」

開催日時：平成29年11月27日（日）

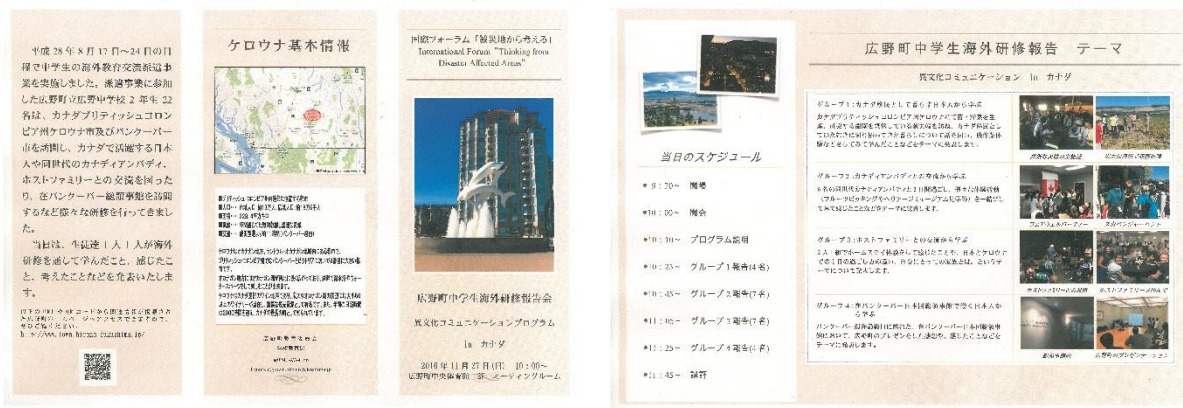
開催場所：広野町中央体育館 2階 ミーティングルーム

ファシリテーター 岡本 モア氏

参加者数：約60名

スケジュール

- 9：30 開場
- 10：00 開会
- 10：10 プログラム説明
- 10：25～ グループ1報告（4名）カナダ移民として暮らす日本人から学ぶ
- 10：45～ グループ2報告（7名）カナディアンバディとの交流から学ぶ
- 11：05～ グループ3報告（7名）ホストファミリーとの交流から学ぶ
- 11：25～ グループ4報告（4名）在バンクーバー日本国総領事館で働く日本人から学ぶ
- 11：45～ 意見交換会



海外教育交流派遣事業に参加した広野中学校2年の生徒たちは、広野町国際フォーラムの場において、グループテーマごとに一人一人が派遣事業を通して学んだこと、感じたことなどを発表しました。

様々な国の参加者から意見を頂戴し、生徒たちはカナダ帰国後に感じた異文化交流の大切さや、英語の重要性を改めて再認識することができ、今後の更なる学習意欲や知識を高めるきっかけとなりました。





派遣中学生報告

カナダ移民として暮らす ～日本人から学ぶ～

グループ①：猪狩 圭汰
大橋 達也
菜花 大輝
抜水 綾花

オギ農園の方へインタビューしてみた

猪狩 圭汰

僕がカナダのケロウナにあるオギ農園でインタビューしたことは4つあります。

まず最初は、カナダの「文化気候の違い」についてです。ケロウナでは、1年の内、5月から10月までの6ヶ月間農業をするそうです。

気候については、夏場は日本より日が長く、作物が早く育つそうです。また、カナダの人は野菜を生で食べる事が多いそうです。

2つ目は、「苦勞する事」について質問しました。オギさんは夏場は、1日10時間働くそうで、砂漠地帯のケロウナで1日中外で働く事が大変だと言っていました。しかし、冬の6ヶ月間は自由に過ごせるので頑張れると言っていました。

次は「やりがい」について聞きました。オギ農園の野菜を買いに来たお客さんにおいしいと言って貰うことでやりがいをとても感じるそうです。

最後の質問は、「土の違い」についてです。日本の土はふかふかなのに対して、カナダの土は粘土質だそうです。そのため肥料を使わないで野菜を作れると言っていました。

オギ農園の方へインタビューしてみた

大橋 達也

僕たちがオギ農園に行って、インタビューしたことは5つあります。

まず1つ目は、なぜカナダで農業を始めたのかを聞きました。オギ農園では日本式の小さい農業ではなく、アメリカ式の大きな農業をしたかったからカナダで始めたということでした。

2つ目は、野菜作りで気を付けていることについて聞きました。オギファームでは、安心安全な野菜を作ることに気を付けているそうです。そのため、オギファームでは農薬や機械

を使わず野菜を作っています。

3つ目は、オギさんがカナダに来て思ったこと感じたことを聞きました。オギさんはカナダに来て、見た目の人種の違いはあるけれど同じバックボーンを持った人間だと感じたと言っていました。

4つ目は、野菜の種類について聞きました。オギファームで作っている野菜は数多く、スーパーにある野菜のほとんどを栽培しているそうです。

5つ目は、日本とカナダの野菜の食べ方の違いについて聞きました。カナダの人達は野菜を生で食べる事が多いそうです。安心安全を大切にして作っているそうです。オギ農園に野菜を買いにくる人達は見た目をあまり気にしないそうです。見た目がきれいな野菜ではなく、野菜の味を気に入って買いに来てくれるそうです。

農作業体験をしてみても

菜花 大輝

8月18日ぼくたちは、オギファームで農作業体験をしました。オギファームは日本人のオギさん夫婦がカナダのケロウナという所で経営をしています。オギファームの畑はものすごく広かったです。その畑でぼくたちは3つの農作業体験をしました。

1つ目はニンジン採りです。オギさんの奥さんが採り方を教えてくれました。茎と葉を一気にひっぱりニンジンを抜きました。ニンジンは大きい物と小さい物で区別しました。理由は、売りに出す物と出さない物を分けているからです。

2つ目は、ポテト掘りです。オギさんの息子さんが教えてくれました。シャベルを足で強く土にさして持ち上げて芋を掘ります。持ち上げる時に力を使いました。

3つ目は、雑草取りです。オギさんと一緒にやりました。ずっと同じ体勢で作業していて腰が痛くなりました。これを毎日広い畑で行っているオギさんはすごいと思いました。

オギ農園を訪問してのまとめ

抜水 綾花

カナダに行って2日目に日本人が経営するファームに行きました。経営者のオギさんへインタビューしたり、実際にファーム体験をさせていただきました。

オギさんは、安心安全を大切にしているので無農薬で野菜を育てています。また育てる野菜によって土も使い分けています。さらに、スーパーに売っている種類の野菜を夫婦だけで作っています。農業をしている時期としては6ヶ月で朝の4時くらいから仕事をしてるそうです。インタビューを通してとても大変そうだと思います。でもオギさんはそれを乗り越えているのでとてもすごいと思いました。

ファーム体験ではにんじんを抜いたり、雑草を抜いたり、芋を掘ったりしました。おもしろかったです。じゃがいもが日本のじゃがいもの2倍くらいあり、大きいものばかりでビックリしました。畑もすごく広がったです。最後に採れたてのにんじんを生で食べました。日本ではにんじんを生で食べたことがなかったので、新しい体験が出来ました。採れたてのにんじんはみずみずしく、カリカリしてて甘かったです。オギさんは日本を離れていても、地域の人達のために新鮮でおいしい野菜を育てていてすごいと思いました。

バティから学ぶ

グループ②

大和田 萌、黒田 英寿、吉田 智美

是次 美優、高原 由依、根本 柊

渡辺 優希

フルーツピッキング

大和田 萌

フルーツピッキングをして私は、とても楽しい思い出が2つあります。

1つめ目は、フルーツを取るところです。その果樹園では、桃、プルーン、なしなどがありました。最初にとったのは桃です。自分の背丈以上の木になっていました。実がとても大きくておいしそうでした。2番目にとったのは、プルーンです。プルーンは桃より小さくたくさんとっている人もいました。3番目にとったのは、なしです。なしも大きくておいしそうでした。そのフルーツをはしごをつかって採っている人もいました。でもそのフルーツを自分の家に持ち帰ることができなかつたので少しかなしいです。フルーツを取って帰ろうとしたとき、同じ班のゆうきがサイフをおとしてしまったのでびっくりしました。ゆうきは、そのサイフを2、3回おとしていました。そのあとはちゃんとみつけてよかったです。

2つ目は、果樹園の中にあるお店です。お店の中では、フルーツをジャムにしていたり、フルーツやアイスが売っていました。ゆうきとバディはアイスを食べていました。ゆうきは、バニラを食べていたので少しおいしそうでした。私は果樹園でラズベリーをもらいました。とても甘ずっぱくておいしかったです。またこのような体験があったらやってみたいと思いました。

ダウンタウンウォーキング

黒田 英寿

僕がダウンタウンウォーキングで思ったこと気づいたところは二つあります。

一つ目はダウンタウン全ての人がとても笑顔ということです。お土産を買ったときやピザを食べ終わったときの会計で楽しそうな笑顔なので僕達まで笑顔になりました。他にはいろいろな人にあいさつをすると必ず笑顔で返事をしてくれます。しかもその中には「カナダに

ようこそ。」や「私は前に日本に行ったことがある。」などの話もあり、あいさつだけでここまで楽しめるとは思っていませんでした。日本でもフレンドリーになれば世の中もっと良くなるのになと思いました。

二つ目は自由に感情や考えていることを表現していることです。例えば、ピザの注文時に「これはなんですか?。」と聞くと「豚肉のそぼろがのっけていて少し辛い。」と顔や体を使い分かりやすく説明し、あまり困らずに過ごすことができました。

このようなカナダ人のように2020年のオリンピック・パラリンピックの時やその後に外国人が日本に増えるので積極的に質問や道案内をしたいと思います。

ヘリテイジミュージアム

吉田 智美

ヘリテイジミュージアムに行った時、すごく歴史に興味があったのですごくワクワクしました。昔の住居は日本のたて穴住居になんとなく形が似ていました。服そうも似ていました。昔近くにいた動物は、とても迫力がありました。ポプリも作りましたが、昔からこういうのを考えているのは、カナダ人のオシャレを大切にしている所からきているのかなって思いました。

ヘリテイジミュージアムでバディはすごくカナダの歴史をたくさん話していました。カナダの人達は、すごく自分の国を大切にしています。また、バディは簡単な英語で会話してくれました。相手にあわせてくれるバディはとても優しかったです。たくさん国の歴史を話す機会があったらすごくいいと思いました。

スカベンジャーハント

私達は、ファーマーズマーケットでバディと一緒に答え探しをするスカベンジャーハントというゲームをいくつかのチームに分かれて行いました。チーム同士で得点を競い合い、フェアウェルパーティーでその結果の表彰がありました。質問が書かれた紙をもとに答えを探しました。また、バディとの相互理解を深めるためにお互いの趣味や特技について質問をしました。バディは自分のことだけでなく、カナダについても教えてくれました。このゲームのおかげで、いろいろなことを知ることが出来ました。カナダの文化や風土、バディの事がよく分かりました。また、自分のことも知ってもらえてうれしく思いました。今回のゲームを通して、英語で伝えることの難しさを実感しました。でも、とても楽しかったです。短い時間でしたが、バディと最高の思い出をつくれたと思います。学びと交流を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

ショッピング

バディとショッピングをして一番驚いた事は日本にあるお菓子のハイチュウが売っていたことです。文字はローマ字で書いてあり、日本のハイチュウと味が同じでした。バディの人も好きらしく2つ買っていました。

一番大変だったことはご飯を食べるときです。全て英語で書いてあったので、どれがどれの事を書いているのか分からずおどおどしていたら、バディの人が優しく教えてくれたのでぶじ注文できました。お昼ご飯にはえびを鉄板で焼いた物を食べました。おいしかったです。カナダでは英語の言葉や意味が分からなかったこともあったけどバディの人が優しく教えてくれました。また、カナダでは荷物をおいたままにするとほかの人にとられてしまうことも教えてくれました。私の住んでいる広野との違いに驚きました。ショッピングモールは日

本のモールと違い、広くまよってしまいそうでした。色々なお店があり見ていてとてもおもしろかったです。バディとのショッピングはとても楽しかったです。

フェアウェルパーティー

根本 柊

ホストファミリーとカナディアンバディとお別れのためにフェアウェルパーティーを行いました。僕はこのパーティーでゲーム係を担当しました。自分の役割はゲームの説明と参加者のゆうどうで、それを果たすことができました。ゲームの中でも小さな子の面倒を見たり、同じテーブルの人に分かりやすく折り紙を教えたりもしました。このできたことを自信にして今後に活かしていきたいです。また、カナダの料理や食文化を味わうことができたのも良かったです。最後にホストファミリーと記念撮影をしました。その写真が僕にとっての一番のカナダの思い出です。ずっと大切にしていきます。これからはカナダの研修で学んだことを学者に活かしていきたいです。

バディとの会話

渡辺 優希

僕のバディといろいろ遊び買い物をしました。

まずは、バディと遊んだことを二つ発表します。

一つ目は、バスの中でトランプをしたことです。バディとババ抜きをやろうとしたんだけど、バディがやり方を知りませんでした。そこで、同じ班の人と協力して自分は、ジェスチャーをして友達は、英語で説明しました。伝えられたことでコミュニケーションの自信ができました。二つ目は、ボールで遊んだことです。バディは、高校生で、中学生とは力とスタミナが全然違って、ついていくのが大変でした。自分のスタミナがきれてしまい

途中でリタイアしてしまいました。

バディと一緒にすごしてコミュニケーション力に自信ができました。いろんな人とコミュニケーションを活用することの大切さを学びました。カナダの人は、いろいろなコミュニケーションのしかたを教えてくださいました。

ホストファミリーから学ぶ

グループ③

関根 ありさ、赤井 理紗、上遠野 結和

三瓶 聖太、渡邊 祐也、鈴木 一郎

堀江 紗帆

関根 ありさ

私は、1日目のホームステイでは、2つ驚いたことがありました。1つ目は、食べ物についてです。夕ご飯は17時など早い時間に食べて、その日のご飯は、バイキングでした。メニューは、ライスやコーン、ぎょうざ、パスタなど日本とあまり変わらないご飯で、ホストファミリーのお母さんは、私たちの食べる量を知りたかったからバイキングにしたのかなと思いました。2つめは、その日はオリンピックでバドミントンを家族と一緒に見ました。そしたら、たまたま日本とデンマークとの決勝戦でした。その試合を見ていたとき、ホストファミリーのお父さんが日本を応援してくれて、私たちもバドミントンをやっていると伝えたら、驚いて「頑張って！応援してるよ」と、言われて、私はとてもうれしくて、勇気をもらえました。一日目のホームステイは、とても緊張して、英語の単語がわからなくて話せないときもあって、自分たちで資料を見たり、英語を電子辞書で調べたり、もっとホストファミリーの人とコミュニケーションをとって、早くなれようと頑張りました。なれないことに挑戦するということは、今まで知らなかったことがわかるし、努力しようと頑張るから成長ができたホームステイでした。

2日目（8/19）のホームステイ

赤井 理紗

2日目のホームステイでは、子供たちとトランポリンで遊びました。初めてあった時は、あまり子供たちと話せなかったけどどんどん仲良くなれたのでよかったです。会話をしている時が一番楽しかったです。最初は質問されたことをすぐ答えることができなかったので反省しています。おやつには、チョコレートアイスクーキを食べました。とてもサッパリしていてとてもおいしかったです。夜ごはんは、カレーライスでした。ライスはサラサラしていて形も違ってびっくりしました。子供たちと一緒にアニメを見ました。単語などわからな

ったけどとてもおもしろかったです。英語の勉強になったのでよかったです。最初は不安だったけどコミュニケーションがとれました。ジェスチャーで指を指したりして伝えることができたのでよかったです。カナダでの景色も感動しました。とても楽しい思い出ができました。またカナダに行きたいです。

3日目（8／20）のホームステイ

上遠野 結和

フェアウェルパーティーが終わった後、ホストファミリーのみんなと映画をみました。

やっぱり英語のなので何を言っているか全然わかりませんでした。でも、ジェスチャーなどみてるだけでも楽しかったです。

後は、スムージーを飲みながら映画をみたのですこし、さむかったです。

とちゅう、ねてしまって、おきたのがだいたい、十時過ぎぐらいだったので、急いでお風呂に入って、ベッドに行ってねました。映画はとても面白かったです。後スムージーも甘かったけどおいしかったです。

4日目（8／21）のホームステイ～終日共に過ごして～

三平 聖太

私達は、ホームステイ4日目の午前中に、オカナガン湖北西部にあるビーチに行きました。ビーチではまず、全員で4輪車に乗って湖周辺を2～3週しました。ずっとペダルをこいでいたので、とても疲れました。その後は、湖で泳いだり、水切りをしたりして遊びました。湖の水はとても冷たく、気持ちよかったけど、石がごろごろしていたり、その石に藻が張り付いていたので、とても滑りました。でも、とても楽しかったです。また、家に帰る途中に、あるお店によって、アイスやフレンチフライを食べました。アイスは冷たくておいしかった

し、フライはカリカリしていてとてもおいしかったです。

家に帰ってからは、プレイステーション3のアメリカンコミックの格闘ゲームを、子ども達といっしょにやって遊んだりしました。ゲームがとても楽しかったけれど、負けたときが、とても悔しかったです。

夜には家族全員で、ピザ屋に行きました。私は、『ハワイアン』というピザを食べ、『7up』という飲み物を飲みました。ピザには、パイナップルやベーコンが入っていたり、外はパリパリ、中はもちもちとした食感で、とてもおいしかったです

7upは、グアムで飲んだとき以来飲めていなかったもので、久しぶりに飲めて良かったです。

その後は、家に帰って、子ども達と『スヌーピー』というアニメを見ました。夜中まで起きていてしまったけど、初めて見たので、とてもおもしろかったです。

この日は、朝から夜まで、遊んだりして、とても楽しかったです。

ホームステイの食事

渡辺 裕也

ぼくの、ホームステイした家では、1日目にチャーハンのようなものができました。中には、肉や、野菜、香辛料が入っていて、とてもおいしかったです。二日目は、朝食にパンとベーコンとキュウリのコショウをかけたものが出ました。カナダは、生の野菜を食べると聞いていたのですが、驚きました。その日は、オカナガン湖につれていってもらいました。夕食は、マカロニのスープのようなものでした。トマトが入っていたので苦手かなと思ったけれどもとてもおいしくてトマトが少し好きになりました。また、ホームステイ先では、ジュースと紅茶がメインで出ました。レモネードがとてもいい味で、毎日飲みました。三日目は、ホームステイ先のお母さんがロシア出身だったので、ボルシチを作ってもらいました。初めて食べるボルシチでしたがとてもおいしかったです。

日本とは全くちがう食事だったけれども、おいしいものばかりで、いい思い出が出来たと思います。

また機会があれば、カナダの料理を食べてみたいです。

1日の過ごし方の相違点

鈴木 一朗

僕はホームステイをして日本にいるときとまた違うことをして過ごせました。日本にいるときは、特にやることなく家にいることが多いです。でもケロウナでのホームステイはとても楽しかったです。

日本とケロウナで違うところがありました。まず、並んでいるお店の雰囲気がとても違いました。日本とはまた違うオシャレな感じがしたり、品物も初めて見るようなものばかりでした。他に、ホストファミリーと湖に泳ぎに行きました。日本では普通、湖に泳ぎに行かないんですけど、ケロウナでは泳げます。そこで初めて湖を泳げたのでとてもいい経験をしたなと思いました。

ケロウナでは日本で出来ないことをたくさんできました。自然や文化はそうなんですけど大きな違いは、お礼をされたあとに You' re welcome. どういたしましてとっていました。日本の人は、ありがとうでとまってしまふけれどケロウナの人はちゃんとどういたしましてと言つけくわえていました。僕はこれを聞いて自分でもどういたしましてを言えるようにしたいなと思いました。

家族とは・・・

堀江 紗帆

私が思う家族とは、自分にとってとても大切な人です。

カナダのホストファミリーは少し緊張ぎみの私たちを初めて会った時から優しく明るく笑顔で迎えてくれました。食事を一緒にとったり、庭で子どもたちと遊んだり、みんなで近くの公園へ行ったり、いつも家族の一員として接してくれました。自分が思っていた以上にホストファミリーと親しくなれた気がします。ホームステイ先のペットのキャスパーも、名前を呼ぶと近よってきてくれました。途中、自分のスリッパをかみちぎられてしまうハプニングもありましたが、良い思い出となりました。ホームステイという外国人との交流はとても貴重な体験でしたがカナダに自分にとって大切な家族がもう一つできた気がしました。カナダ研修だけの交流ではなく、プライベートでもたくさん交流していきたいと思います。

在バンクーバー日本国総領事館で働く 日本人から学ぶ

**グループ④：坂本 光太
堀江 莉帆
大和田 美月
水野 真優**

領事館でプレゼンをしてみて

坂本 光太

僕は、カナダ研修に臨むに当たり、夏休みの中頃から、カナダに行く少し前まで、ほぼ毎日、朝、学校の英語室で練習をしました。最初は、プレゼンするために、英文や単語など覚える内容がたくさんあり大変だと思いました。しかし、練習をしていくうちに少しずつ慣れていって、すらすらと話せるようになり自身を持つことができました。そしてカナダに着いてからも、ホストファミリーの家や大学の寮で練習をしました。プログラム最終日、いよいよ日本国総領事館があるバンクーバー市へと入りました。一気に緊張感が沸いてきました。しかし、実際に日本国総領事館に着くと、その緊張は少し無くなりました。なぜなら、スピーチを聞く人が日本人だったからです。僕たちが発表する前に総領事が「私も昔は英語が苦手だった」と言って場を和ませてくれたため、プレゼンを無事に終わることが出来ました。僕はプレゼンをしてみても、日本にいたときよりも発言をしたり、積極的に動いたりすることが出来るようになりました。そして、僕はカナダでコミュニケーションの大切さも学びました。これらの経験を活かし、日頃の学校生活においても自分に自信を持ち友達や先生とのコミュニケーションをしっかりとっていきたいです。

領事館でプレゼンをしてみても

堀江 莉帆

私は、カナダのバンクーバーにある日本国総領事館でプレゼンテーションをしました。

カナダへ渡航する前は、英語で長文を言うのは少し戸惑いがあったけど、夏休み中に先生方が発声の注意点や間違いなどを指摘してくれました。

更には、ALTのニック先生がその長い英文のCDを作ってくれたり、プレゼンをするにあたり陰で支えてくれた先生には本当に感謝しています。

実際にカナダに渡航してからもプレゼンする3人で細かい所の打合せや、一人一人が英文を言って間違いがあったら指摘しあい、みんなで直す方法を考えたりと、とても頭を使ったけれど協力してできたと思います。

本番では、領事館の立派な建物の会議室で総領事や領事班長を前にし、プレゼンしました。3人ともすごく緊張していたけれど、みんなが落ち着いて話していたのでミスせずに良い思い出になったと思います。

この思い出を大切にしながら、これからの生活においても英語を身近な存在として感じながら生活していきたいです。

領事館でプレゼンしてみても ～想いを伝えるということ～

大和田 美月

私は、カナダ研修の領事館訪問で、英語でプレゼンするという機会を与えていただきました。

私は、英語を話すことが得意ではなかったのですが、莉帆さんや光太くんと一緒に夏休み中も練習をしたことで、苦手意識のハードルが一気に下がりました。

プレゼン当日、私は「広野町が美しい町であること」、そして、「震災という苦難を一生懸命乗り越えてきた」ということを伝えたいという想いでいっぱいでした。私たちのまだつたない英語で伝わるかどうか、不安でしたが、領事館の方々が時折、笑みを見せながら聞かれているのを見て嬉しくなりました。

さらに、一人一人が自分の考えを発表していったときは、みんなの想いがとても伝わってきました。

今回のカナダ研修、そして、領事館訪問は私にとって貴重な体験になりました。ありがとうございました。

領事館を訪問してのまとめ

水野 真優

私は、カナダ日本国総領事館で学んだことがたくさんありました。

まず、領事館の仕事についてです。領事館の仕事を簡単に言うと「国益を得る仕事」です。大使館は世界に136カ所もあります。領事館は市役所のような所で、日本の紹介などをしたり、情報収集や分析、国際協力もしたりします。日本のニュースは世界中で報道されたりもします。

そして、日本はたくさんの支援をしてもらっています。例えば、東日本大震災に伴う活動として、津波で日本から流されてきた漂着物を日本の持ち主に返すということです。

領事館に行って、日本もたくさんの国を助けていると思いました。これからは、困っている外国人がいたら、助けられるように、英語の授業でもっと積極的に発言できるようがんばりたいです。



平成28年度広野町中学生海外教育交流派遣事業報告書

平成29年3月発行

編集発行 広野町教育委員会学校教育課

